

神保町地域

～地域特性～

- ①人口：人口密度は低い
- ②自然環境：坂道の多い地形であり、神田駿河台周辺の標高が高く、南側に向けて緩やかに傾斜している。北側を神田川が、西側から南方向に日本橋川が流れている。
- ③土地利用：旗本屋敷として多くの武士が暮らしていた神保町は、住宅地として発展。古書店街、スポーツ用品店街等、個性ある界隈が存在する。旗本屋敷などの武家地では、屋敷や長屋が組み合わさっていたため、現在も街区が大きい一方で道幅は狭くなっている。
- ④地域の魅力：古書店街や学生街など独特のまちの個性を活かしつつ、日本武道館やスポーツ用品店街などとの回遊性を高めた賑わいにあふれたまちである。また、出版業・書店の集積を活かし最新の情報を発信するとともに、歴史・文化的たたずまいや下町的コミュニティが感じられる。
- ⑤公園整備状況：錦華公園と神保町愛全公園が、リニューアル中。児童遊園など小さな公園の性格付けがされていない。



～ 神保町地域 区民の声～

(こども)

・最近公園遊具が少なくなっていて、公園がただの広場みたいになっているので、もっと遊具を増やして欲しいです。

・緑も結構あり歩道もきれいで快適に登校できます。いつもありがとうございます。

(大人)

・公園と呼べない小さすぎる公園が多い。遊具がなかったり、滑り台一つがやっとおける公園など。

・もう少し子供がのびのび遊べる公園を各地域に作ってほしい。

・年配のかたはゲートボール等できるのに子どもはサッカー等であそべないのは不公平だと思います。

～地域特性から分析した課題～

- ★市街地再開発事業による住宅供給などによる定住人口の増加、若者層の人口減少
- ★神田神保町などにおいて中小建物の老朽化
- ★神田川・日本橋川氾濫や集中豪雨等による被害拡大の懸念懸念

～公園の現況調査から分析した主な課題～

- ★利用されていない公園がある
- ★ニーズを満たせていない

神田公園地域

～地域特性～

- ①人口：人口密度は低い
- ②自然環境：低地部に位置し、平坦な地形が広がっており、地域の南側を日本橋川が流れている
- ③土地利用：町地が広がっていた本地域では、通りに面した商店と、狭い裏長屋で街並みが構成され狭い路地が縦横に入り組んでいる。昭和から続く神田駅西口商店街は全長 300mにわたって店舗が建ち並び、大手町に隣接していることから、働く人も多く、賑わいが見られる。出世不動尊、豊川稲荷神社、佐竹稲荷神社等、歴史を感じさせる資源が残されている
- ④地域の魅力：神田駅周辺の商店街やスポーツ用品店街に集まる多様な人々との交流や、出世不動尊や佐竹稲荷神社などに残る歴史をまちの資源として活かし、昔ながらの下町らしさと新しい文化が感じられる。
- ⑤公園整備状況：神田児童公園に公園機能が偏っており、地域の公園としてできることのバリエーションが少ない。



～ 神田公園地域 区民の声～

（こども）・いろいろな遊びができる公園や広場があるといいなと思います。ボール遊びやかけっこ、鬼ごっこ、遊具など

・スケーターで思い切り遊べる広場が欲しい。神田駅の近くに遊具がいっぱいある公園が欲しい。

（おとな）・夏の公園のプールは何度も通わせていただきました。コロナで奪われがちだったこどもの成長機会を提供いただけ、大変ありがたかったです。こうした機会があると、子育てがんばろう！応援してくれるんだなと感じられ、モチベーションにつながります。

・全世代の合意を得ながらまちづくりをしていくのは難しいとは思いますが、次の世代を見ながら子どもたちの成長を見守っていただけると嬉しいです。

～地域特性から分析した課題～

- ★集合住宅への建替えにより、単独世帯数が大きく増加し、定住人口が増加
- ★まちの味わいや奥行きを感じられる神田らしさの希薄化
- ★中小建物の老朽化が進行
- ★身近な緑や空地などの不足

～公園の現況調査から分析した主な課題～

- ★利用されていない公園がある
- ★ニーズを満たせていない

万世橋地域

～地域特性～

- ①人口：人口密度は平均的
- ②自然環境：地域の西端に位置する御茶ノ水駅周辺や神田明神が台地の東端部にあたり、地域の東側は平地上で平坦な地形が広がっている。地域の中心を神田川が東西に貫流している。
- ③土地利用：秋葉原駅周辺は高度経済成長とともに世界有数の電気街・サブカルチャーのまちとして発展、多様な文化を発信し多くの観光客が訪れる等、特に滞在人口が多い。神田明神や歴史を刻んだ老舗飲食店を中心に、界隈から下町らしさを感じることができる。また、電気街にも講武稲荷等の小さな歴史資源が残されている。
- ④地域の魅力：神田明神やニコライ堂等歴史的資源が多数存在し、神田祭に象徴される祭礼文化、伝統的な下町風情を感じられる。一方で秋葉原駅周辺は情報技術産業等の新産業拠点として界隈が形成されている。外神田から御徒町にかけては、ものづくりやアートの創造的な活動が展開され文化・情報の発信地となっている。
- ⑤公園整備状況：練成公園、芳林公園、宮本公園、淡路公園といったお祭りやイベント利用が年間を通して頻繁に行われている公園がある。



～ 万世橋地域 区民の声～

(こども) ・野球の素振りやキャッチボールが出来ない。遊具が少ない。

・ブランコやターザンロープが欲しい。滑り台を長く急にして欲しい。

(おとな)

・小学生の運動不足とされている中、公園は禁止事項が多く、ボールやバドミントンなど、運動出来る場所がないので体力もつかない。

・①蚊の対策をしてほしい②公園なのに遊具が少ない理由が地域の要望(お祭りなどのスペースが必要)のためと聞いたが、年に数回のイベントのために子供の遊びが制限されることはおかしいと思う

・芝生でくつろげる公園がほしい。

～地域特性から分析した課題～

- ★ファミリー層を中心とした定住人口の増加
- ★区内で最も多くの外国人観光客が来訪
- ★中小建物の老朽化が進行
- ★荒川氾濫や集中豪雨などによる被害拡大の懸念

～公園の現況調査から分析した主な課題～

- ★画一的な整備・遊具が乏しい
- ★ニーズを満たせていない

和泉橋地域

～地域特性～

- ①人口：人口密度は平均的
- ②自然環境：平地部に位置し平坦な地形が広がり、地域の中心を神田川が東西に流れる。
- ③土地利用：繊維・金物・薬品等独特の間屋が集積、住商の混在する町として発展。近年マンションの建替え等でファミリー世代の人口が増加。特に東神田一帯は夜間人口密度が高くなっている。
- ④地域の魅力：下町のおよさと都心の魅力が感じられる。さらに、親水性を高めた神田川や道路空間が存在するとともに、人々が気軽にふれあうような人情あふれる空間である。
- ⑤公園整備状況：和泉公園や佐久間公園は利用者が多い。17箇所ある500㎡以下の児童遊園や広場の利用者が少ない。



～和泉橋地域 区民の声～

- （こども）・ボール遊びが出来る様にして欲しい。
遊具の種類を増やして欲しい
- ・遊んでもいい自然を増やして欲しい！また、広いほうがいい
- （おとな）・「児童遊園」の名は付いているものの、狭く遊具もなく、大人が休憩（喫煙）しており、子どもが遊べない公園が多い印象を受けます。
- ・千代田区の特に公園に付随するトイレはハードだけでなく、メンテナンスの水準が世界最高だと思います。ランナー、サイクリストとして、世界各地の公園を利用させてもらいますが、これは驚きです。
- ・制限された面積のなかであれ、樹木も多く、素晴らしい。千代田区に住んで一番自慢出来るのが公園です。

～地域特性から分析した課題～

- ★ファミリー層、子ども層を中心とした定住人口の増加
- ★かつての間屋街の界索性やコミュニティのつながりの希薄化
- ★中小建物の老朽化が進行
- ★荒川・神田川氾濫や集中豪雨などによる被害拡大の懸念

～公園の現況調査から分析した主な課題～

- ★小規模の限られた公園が多い
- ★利用されていない公園がある
- ★画一的な整備・遊具が乏しい
- ★ニーズを満たせていない

大手町・丸の内・有楽町・永田町地域

～地域特性～

- ①人口：人口密度は低い
- ②自然環境：皇居や内濠、日本橋川など水と緑に囲まれている。かつて入江であった東側の大手町・丸の内・有楽町・日比谷周辺エリアと、台地上に位置する西側の永田町・霞が関エリアに大別される。地域の南西では崖線が形成されており、大手町は日本橋川に接する。
- ③土地利用：世界有数のビジネス拠点であり土地の高度利用が進んでいる。大名屋敷が立ち並んでいた街区構造を継承し、広幅員道路が直交し、大きな街区が形成されている。永田町・霞が関エリアは、大名屋敷が立ち並んでいた街区構造を基に、明治期以降の官庁集中計画に基づいた街区構造となっており、大半のエリアで政治・行政・司法機関の大規模な建築物が立ち並ぶ。
- ④地域の魅力：世界都市東京の中心にふさわしく、歴史の積み重ねによる風格ある質の高い街並みを形成し、また、鳥や昆虫のすむ緑と水辺の豊かな環境共生空間を創出。更に、多様な人々に開かれ、質的転換の図られた高次な業務機能と国際的な商業・文化交流・情報機能をあわせ持つ複合的な都市機能を備え、災害に強く、豊かな都市活動や世界交流が営まれるまちである。
- ⑤公園整備状況：常盤橋公園は、首都高日本橋区間地下化・再開発によりリニューアル検討中である。官民が連携し道路の公園的利用を推進している



～ 大手町・丸の内・有楽町・永田町地域 区民の声～

(おとな)

- ・子どもたちの遊べる公園(遊具)、ボール遊びの出来る公園を増やして欲しい。
- ・千代田区は緑が多い方だと思います。
- ・公園ではありませんが、旧永田町小学校の日曜日の校庭解放を活用させていただいており、大変ありがたいです。
- ・使っていないスペースをただの広場として(ボールやキックボードOK)解放するのもよいアイデアと思っており、是非増やしていただきたいです。

～地域特性から分析した課題～

- ★先駆的なエリアマネジメント活動の活性化
- ★都心の複合的な魅力創造によって、滞在する人が増加・多様化
- ★都心の風格ある景観を保全・継承する開発等の進展

～公園の現況調査から分析した主な課題～

- ★利用されていない公園がある
- ★画一的な整備・遊具が乏しい
- ★ニーズを満たせていない

第3章 公園づくりのビジョンと方向性

第3章 公園づくりのビジョンと方向性

1. 基本的な考え方

今後の千代田区における公園整備は、地域の歴史や特性を踏まえつつ、多様なニーズに寄り添いながら利用者にとって魅力が高く、都市における機能を最大限に発揮した公園づくりを目指します。

また、①公園利用時のルール緩和や公開空地・道路など既存ストックの公園的空間としての活用、②民間開発計画との連携によるオープンスペースの拡充、③区民や民間事業者等の公園に係る人々を増やししながら新たな維持管理手法の導入や支援体制など更なる公園の魅力向上を図ります。

2. 基本理念（コンセプト）

千代田の歴史を継承し 次世代を育む 居心地よいコモンスペースを目指して

現状の利用実態や公園を利活用したいニーズを把握し、公園等でできることを増やし、公園で行いたいアクティビティを叶える公園づくりを目指します。これからの千代田区での魅力ある暮らしを実現するための1つの基盤としての公園整備を行います。また、7つの地域の地域特性や、人口比に対して2000%の昼間人口にも対応し、さまざまな人に、地域に愛されるコモンスペースとしての公園づくりを行います。

基本理念

千代田の歴史を継承し 次世代を育む 居心地よいコモンスペースを目指して

基本方針

基本方針1 公園で 親しむ

地域の歴史、シンボル、
みどりを活かした魅力づくり

施策



歴史的機能

シンボル機能

自然環境機能

基本方針2 公園で 憩う

地域とともにつくる
心地よい居場所の創出

施策



地域活用機能

基本方針3 公園で 育む

楽しく過ごせる機能
の導入による多世代の健康づくり

施策



先駆的機能

基本方針4 公園に 集う

場所を使いこなす
魅力ある遊び場

施策



遊び場機能

公園の機能

公園が担保すべき
基本的な機能

環境保全

景観形成

コミュニティ形成

レクリエーション

防災

3. 基本理念を実現するための4つの基本方針

基本理念「千代田の歴史を継承し 次世代を育む 居心地よいコモンスペースを目指して」を実現するにあたり、以下の基本方針を掲げます。

基本方針1：公園で親しむ

～地域の歴史、シンボル、みどりを活かした魅力づくり～

施策1 地域の歴史を活かし愛着を感じる場所へ

- ・地域の歴史や特性、利用ニーズにあった特色ある整備
- ・良好な景観や長い歴史に培われた文化的な特性を活用

施策2 快適で潤いある公園づくり

- ・環境配慮し、自然との触れ合い、都市の中でも自然の豊かさや多様性に触れられる公園をつくる。
- ・都市公園の再整備のときに緑被地を確保する。
- ・歴史文化や環境教育のための設備（歴史サイン、ビオトープ等）を設置し、区民から求められる健康・福祉、子育て・教育等の機能充実を図る。
- ・公園や周辺等にドライ型ミストの設置を誘導し、クールスポットを創出。

施策3 公園の基本的なサービスの向上

- ・トイレの清掃・美化
- ・雨水流出抑制機能などの災害対策機能を強化
- ・身近な自然である公園の緑陰のから木陰を創出
- ・水飲みやテーブル・ベンチなどの休憩できる場の自由に安心して休める快適な休養施設を拡充。

施策4 デジタル技術を上手に使う

- ・デジタル技術などを活用した防犯性に配慮した安全・安心な公園づくりを行います。
- ・歴史等のデジタル技術を活かした配信
- ・公園機能・温度・利用者などの見える化・オープンデータ化の推進



基本方針2：公園で憩う

～地域とともにつくる 心地よい居場所の創出～

施策1 みんなでつくる公園

- ・子どもや保護者など地域の意見を取り入れ、子育て・コミュニティの核となる公園づくりを目指す。
- ・アダプト制度等の地域活動に、学生、企業、商店街等が参画できる機会づくり
- ・区民の地域貢献活動ニーズに対応した活動支援
- ・区民や民間事業者等の公園に係る人々を増やしながら新たな維持管理手法や支援体制の導入を検討する。

施策2 アクセスしやすいエントランスづくり

- ・公園を閉じるのではなく周辺の施設や道路に対して適度に関き、公園に入りたくなるようなエントランスづくりを目指す。

施策3 地域開発と連携した公園づくり

- ・民間開発計画との連携によるオープンスペースの拡充を図るとともに、柔軟な運用を目指したマネジメントを推進する。
- ・隣接する施設、道路との一体的な公園等の再整備と利活用

施策4 民間企業のノウハウを用いて計画を推進する

- ・公園の質の向上、公園利用者の利便性向上、公園管理者の財政負担の軽減等に向けて、指定管理者・Park-PFI制度（公募設置管理）の活用等、公園の整備・運営にあたり民間活力を導入することも検討していきます。
- ・利用者との協働
- ・事業者やエリアマネジメント団体等との協働（エリマネ団体との連携等）



基本方針3：公園で**育む**

～楽しく過ごせる先駆的な機能の導入による 子どもの健やかな発達と多世代の健康づくり～

施策1 公園でできることを増やす

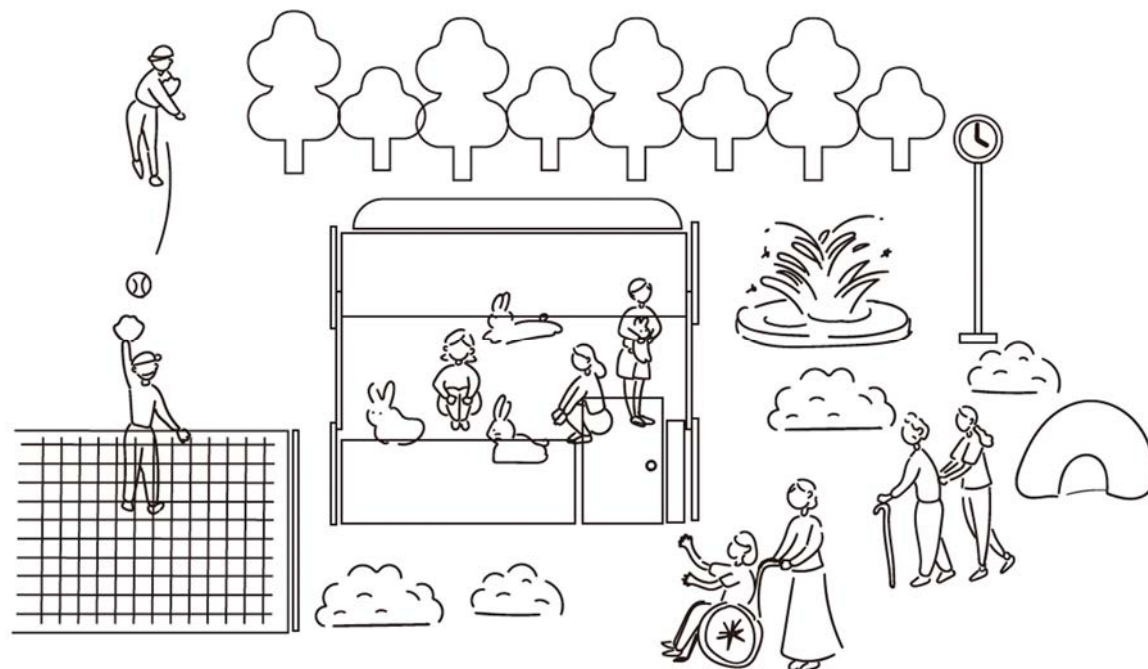
- ・特徴的な遊具を入れて遊びのバリエーションを拡充。(ハード対策)
- ・ボール遊びができる場所や時間を拡充。
- ・インクルーシブ遊具を導入した、誰もが遊べる公園整備の推進
- ・テーマ型機能の拡充
例：スケートパーク、ボール遊び場、特徴的な遊具など
- ・水や緑、動植物と触れ合える場づくりの推進
- ・利活用団体によるイベント開催に対する柔軟な運用の支援

施策2 柔軟なルールづくり

- ・ボールネットなどによるボールの遊び場の創出(ハード)
- ・遊び場事業で配置しているプレイリーダーの時間と場所を増やす
- ・公園以外の利活用の場を検討し、情報発信する。
- ・花火のできる箇所を増やす

施策3 時間帯ごと・場所ごとに楽しめる公園

- ・利用時間に応じた空間を分担し、皆が楽しめる空間づくり
※千代田区では、昼間人口比率が高いため、場所や時間に応じて利用者属性を変化することへの対応が必要。
- ・ベンチなどの居心地よい休憩スペースの拡充

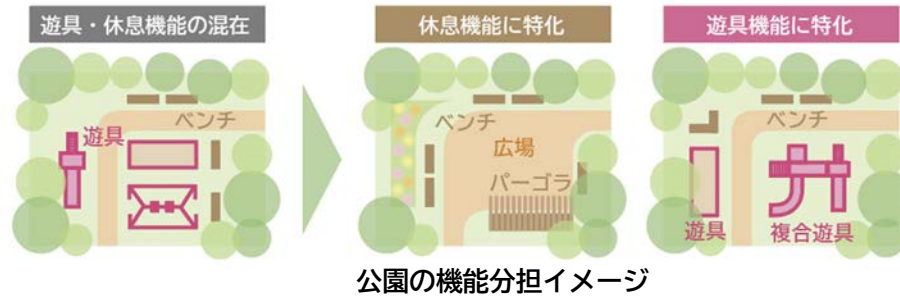


基本方針4：公園に集う

～限られた場所をうまく使いこなし 魅力ある遊びの場をつくる～

施策1 各公園で特徴や機能を分ける

- ・区内の公園・児童遊園等全体で機能を分担する。
限られた公園面積による公園機能向上の手法を検討する。
※単独の公園では機能を十分に満たせないことが課題です。
小さな公園については、地域毎でのバランスを配慮し機能を絞って整備する必要があります。



施策2 誰もが利用しやすい空間づくり

- ・誰もが活用できるユニバーサルデザインを推進する。

施策3 公園と隣接施設を一体的に使う

- ・公園・公開空地などの公園的空間としての活用
- ・公園に隣接する施設と連携した整備やイベントの推進

施策4 道路を公園的に利用する

- ・車の利用が少ない時間に道路をオープンスペース化し、仮設で歩行者に限定した憩いの場や親水空間などの創出に向けて検討を進める。



4. 強化すべき機能

基本方針を踏まえ、以下の6つの機能の強化・充実を図ります。歴史的機能、シンボルの機能、自然環境機能は、千代田区がこれまでに育んできた不変的な要素で、今後継承し、次世代に引き継いでいくもので、基本方針1に対応しています。一方で、地域活用機能、先駆的機能、遊び場機能は時代によって可変的で今のニーズ等に合わせて拡充していく機能で、基本方針2～4に対応しています。

基本方針1

継承していく機能（不変的要素）



歴史的機能



シンボルの機能



自然環境機能

千代田区内には歴史ある寺社や記念碑、関東大震災後に復興整備された震災復興小公園など歴史的資産が点在しています。これらは江戸～昭和を中心とした都市形成の中で継承された資産であり、今後も持続可能な都市を形成するインフラの1つとして次世代に継承していく必要があるものです。神社と隣接した公園や、関東大震災後の復興整備として整備された帝都復興小公園や、歴史的な記念碑、銅像などが建てられている公園が該当します。

千代田区は首都東京の中心に位置し、日本または東京を代表する場所です。区内でも、さらに千代田区らしい区を代表するような公共性の高い公園（オープンスペース）を分類します。本公園では多様で多世代の方が利用するため、利用者の属性を限定しない多様性・多世代にも配慮した公園であると考えます。該当するものとしては、立地的に重要である場所に位置している公園や、日常的に多くの方に利用されている公園等が該当します。

持続可能な社会の実現に向けては、温暖化を中心とした気候変動への対応や、都市での生活の質の向上が重要な課題となっています。千代田区は中心に皇居を有し、豊かなみどりが存在しています。これらのみどりを中心に、各公園が連携することで、風景や人、動物・生物が繋がり、豊かな暮らしを実現していくことが重要である。自然環境公園は、動植物が多く見られ、緑あふれる緑量豊かな公園が該当します。



基本方針 2



地域活用機能

千代田区には7つの地域が存在し、この地域を中心に、コミュニティが形成されています。公園を通じたお祭りや地域でのイベントなどによりコミュニティが醸成され、地域のまちづくりに寄与します。このような祭りやイベント等に利用されているなど、1年の中で利活用している公園が該当します。



基本方針 3

拡充していく機能（可変的要素）



先駆的機能

これからのまちづくりにおいては、誰も取り残さない「包摂性」や全てのステークホルダーが役割を果たす「参画性」が重要となります。これまでの公園は限定的な利用が多い傾向でしたが、これからの公園は包摂性や参画性を生み出すような、これまでにない先駆的な機能（プレイパークやスケボーパーク、ドッグランやインクルーシブ遊具）などテーマ性が高く、これまでの区内の公園整備では実現してこなかった公園が該当します。



基本方針 4

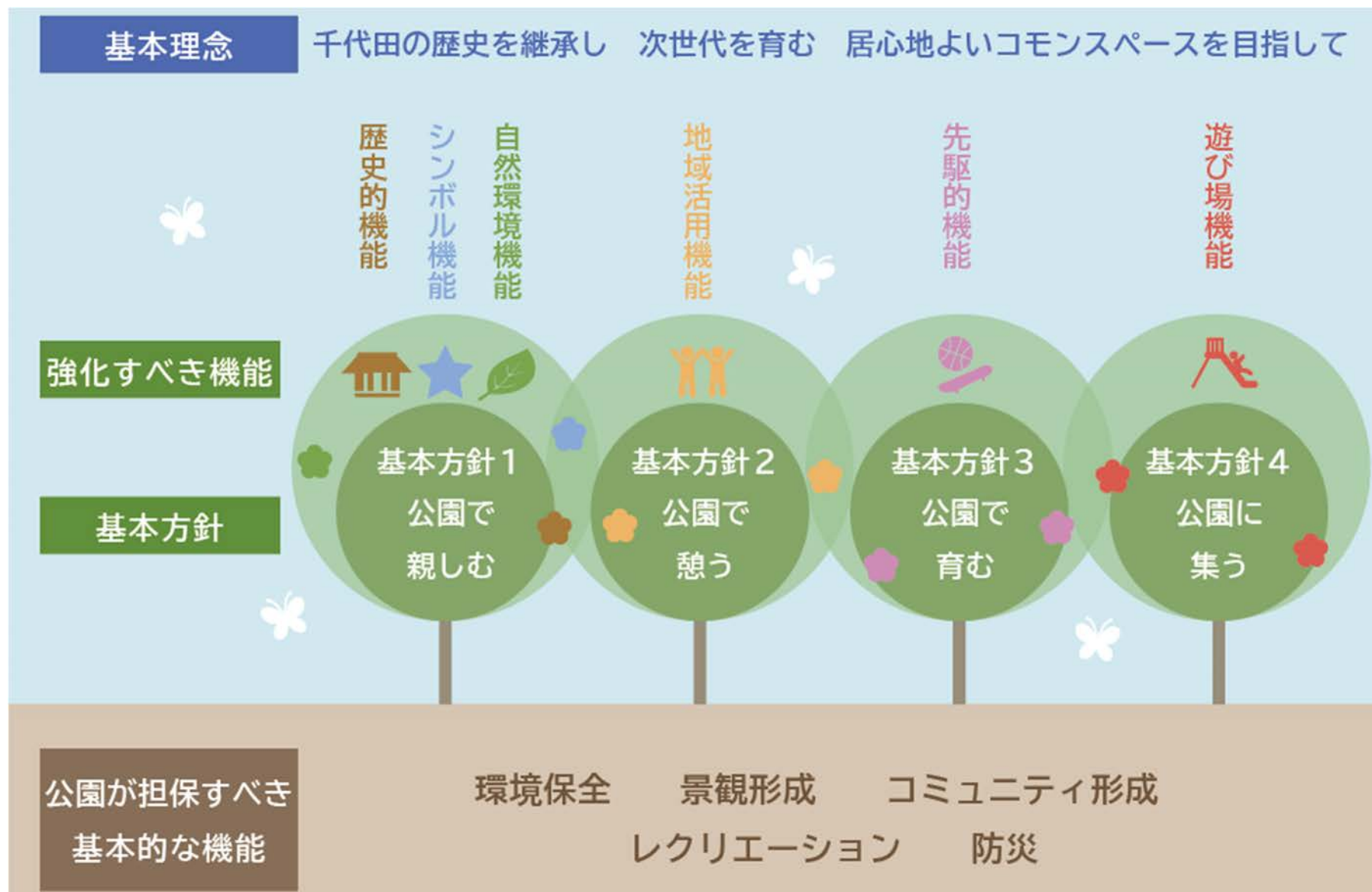


遊び場機能

東京都においてチルドレンファーストの社会の実現に向けた政策が強化され、また千代田区ではベビーファースト宣言が発表され、子どもを産み、育てやすい環境づくりが進んでいます。加えて、千代田区では近年人口が増加の傾向にあり、少年人口についても2050年まで増加が継続すると予測されています。今後増える少年人口であり、これからの社会を担う子どもが、日常的に過ごす場所となる公園は、自分らしく生き生きとした活動が可能となる場所づくり、子育て世代が利用しやすい場所づくりが重要であると考えます。この遊び場公園は、公園内に遊具が多い、自由な遊びができるなど、子どもが遊ぶ機能が大きい公園が該当します。



これら6つの機能は、基本方針にそれぞれ対応するとともに、強化していくことで、基本方針を実現していきます。



5. エリア毎整備方針

基本方針および強化すべき機能を基に地域毎の整備方針を通り定めます。千代田区内には次の7地域が行政上の区分としてありますが、地域別の整備方針を定めるにあたり、強化すべき機能について現状の整理を行いました（図〇）。

千代田区における7つの地域

- ① 麴町・番町地域
- ② 飯田橋・富士見地域
- ③ 神保町地域
- ④ 神田公園地域
- ⑤ 万世橋地域
- ⑥ 和泉橋地域
- ⑦ 大手町・丸の内・有楽町・永田町地域

図〇を見ると、①麴町・番町地域と②飯田橋・富士見地域の境界付近には東郷元帥記念公園、外濠公園、千鳥ヶ淵公園などの主要な公園があり、両地域からの利用が想定されます。この2地域は区内でも繋がりが強い地域と言えます。また③神保町地域、④神田公園地域、⑤万世橋地域についても、錦華公園や神田児童公園といった主要な公園が位置していたり、中規模の公園が近接している宮本公園、鍊成公園、芳林公園の3公園が位置し、その中間に淡路公園があるなど、3地域の繋がりが強いと言えます。一方で、山手線の外側にある⑥和泉橋地域は地域として他とは離れていて、むしろ中央区や台東区と近接している公園が存在し、他区との繋がりが強い地域と言えます。⑦大手町・丸の内・有楽町・永田町地域は住民や公園の数が他の地区と比べて圧倒的に少なく、一方で公開空地など民間の広場が多く点在している場所です。

これらの地域ごとの繋がりなどの整理をもとに、以下の4つのエリアの分類を基本とします。

【麴町・番町・飯田橋・富士見エリア】 【神保町・神田公園・万世橋エリア】 【和泉橋エリア】 【大手町・丸の内・有楽町・永田町エリア】

千代田区立公園 機能分類マップ一覧

都立公園等含む
令和5年10月時点

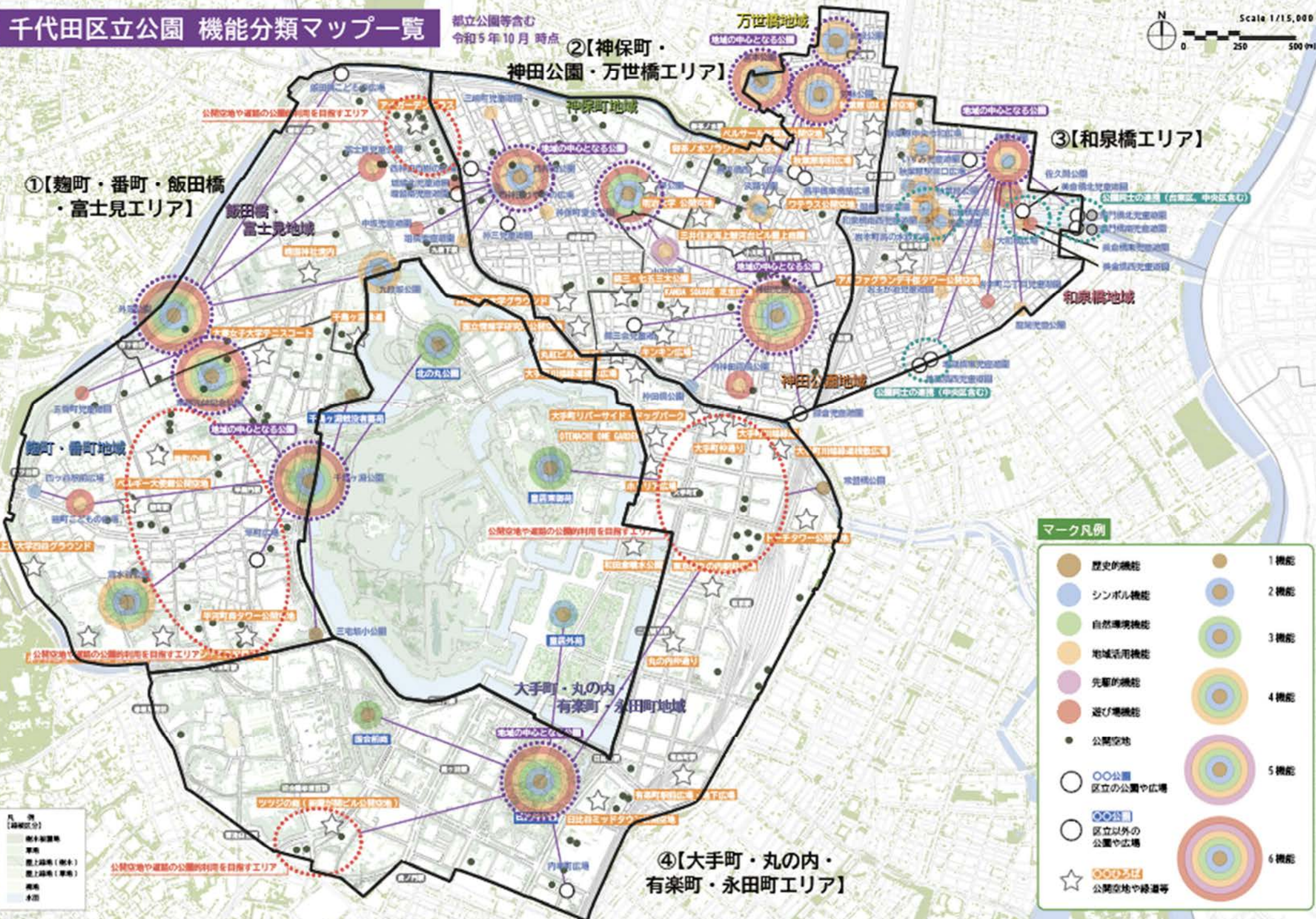
Scale 1/15,000
0 250 500m

①【麹町・番町・飯田橋・富士見エリア】

②【神保町・神田公園・万世橋エリア】

③【和泉橋エリア】

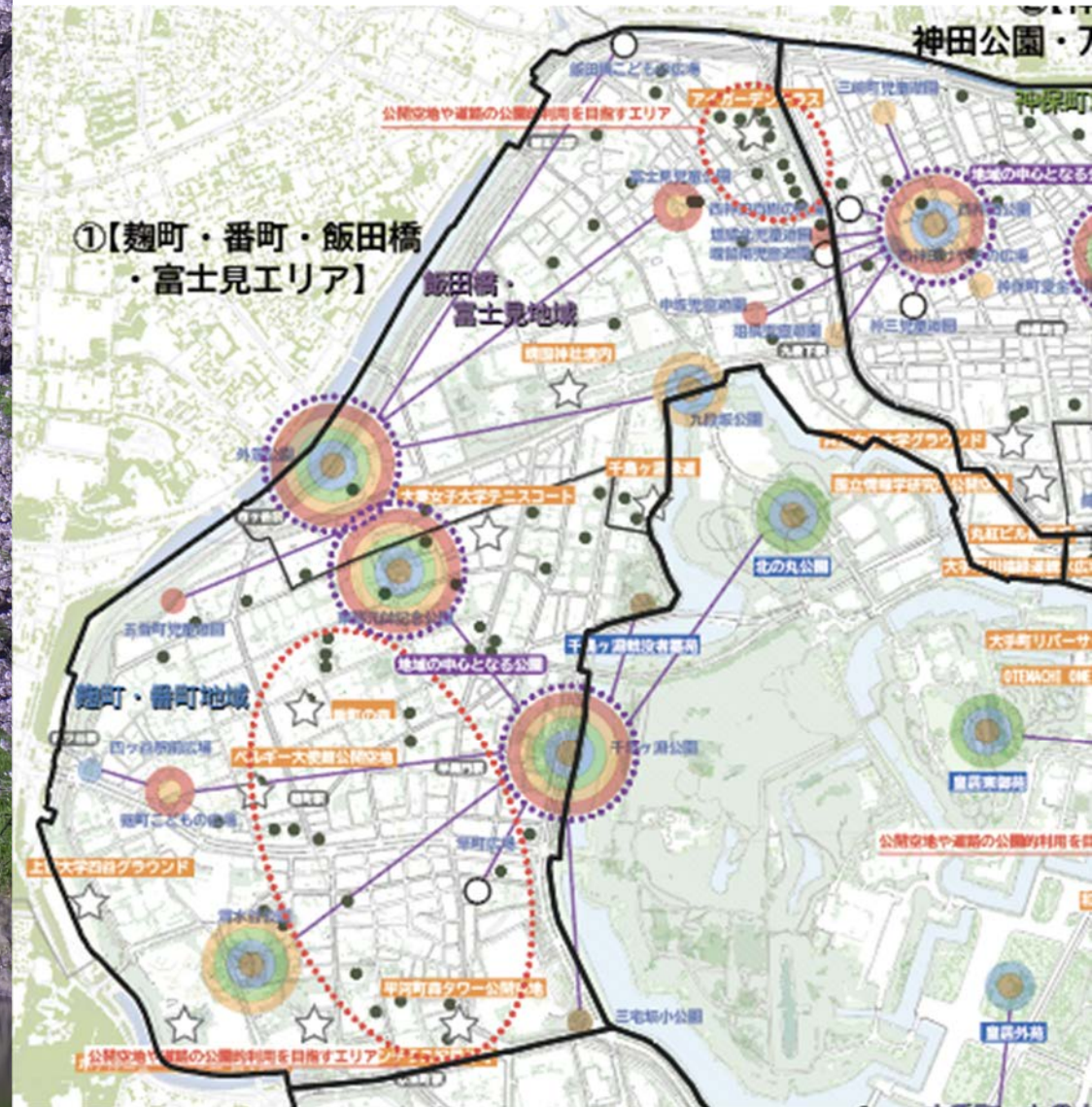
④【大手町・丸の内・有楽町・永田町エリア】



マーク凡例			
	歴史的機能		1機能
	シンボル機能		2機能
	自然環境機能		3機能
	地域活用機能		4機能
	先駆的機能		5機能
	遊び場機能		6機能
	公園空地		
	区立の公園や広場		
	区立以外の公園や広場		
	公園空地や緑道等		

凡例	
	緑地
	公園
	公園空地
	公園空地
	公園空地
	公園空地
	公園空地
	公園空地

① 麴町・番町・飯田橋・富士見エリア



対象の公園（9公園）

東郷元帥記念公園，三宅坂小公園，清水谷公園，千鳥ヶ淵公園，外濠公園(四ツ谷駅-市ヶ谷駅間)，五番町児童遊園，麴町こどもの広場，四ツ谷駅前広場，隼町広場

対象の公園（5公園）

九段坂公園，富士見児童公園，外濠公園(市ヶ谷駅-飯田橋駅間)，中坂児童遊園，飯田橋こどもの広場

基本理念

千代田の歴史を継承し 次世代を育む 居心地よいコモンスペースを目指して

①麴町・番町・飯田橋・富士見エリア

- ・東郷元帥記念公園の震災復興小公園など、歴史を継承する公園整備を目指します。
- ・九段坂公園など利用者が多い公園を有しているため、千代田区の顔となる場所としての公園整備を目指します。
- ・皇居にも近く、面積の大きな公園が多いことから豊かな緑量を保全継承し、快適な環境づくりを目指します。

- ・大きな公園を活かして地域での活用可能な場所を位置付けるなど、地域の方とともに育んでいく公園整備が望まれます。
- ・各地域に公園の誘致圏外が存在しているため、民間企業との連携や、地域の開発と連携した公園づくりによる、地域の方が公園にアクセスできる環境整備が望まれます。
- ・周辺の民間開発と連携して公園づくりを進めます。

- ・スケボーパーク、ドッグランなどの先駆的機能の拡充や、柔軟な活用を検討し、地域での利活用を促進します。
- ・子どもが多い地域でもあり、遊びのニーズが高い場所であると言えます。遊具の導入にあたっては、インクルーシブ機能を強化していくことが望まれます。

- ・比較的大きな公園が立地しているため、静かな場所と賑やかな場所の共存など、公園内での利用のシェアを行います。
- ・地域の中には公園の誘致圏外の場所が比較的広がっているため、公開空地や道路、教育機関等との一体的利用を促進し、公園利用の機会を充実します。

エリア整備方針

強化すべき機能

基本方針



公園が担保すべき
基本的な機能

環境保全

景観形成

コミュニティ形成

レクリエーション

防災

②神保町・神田公園・万世橋エリア



対象の公園（10公園）

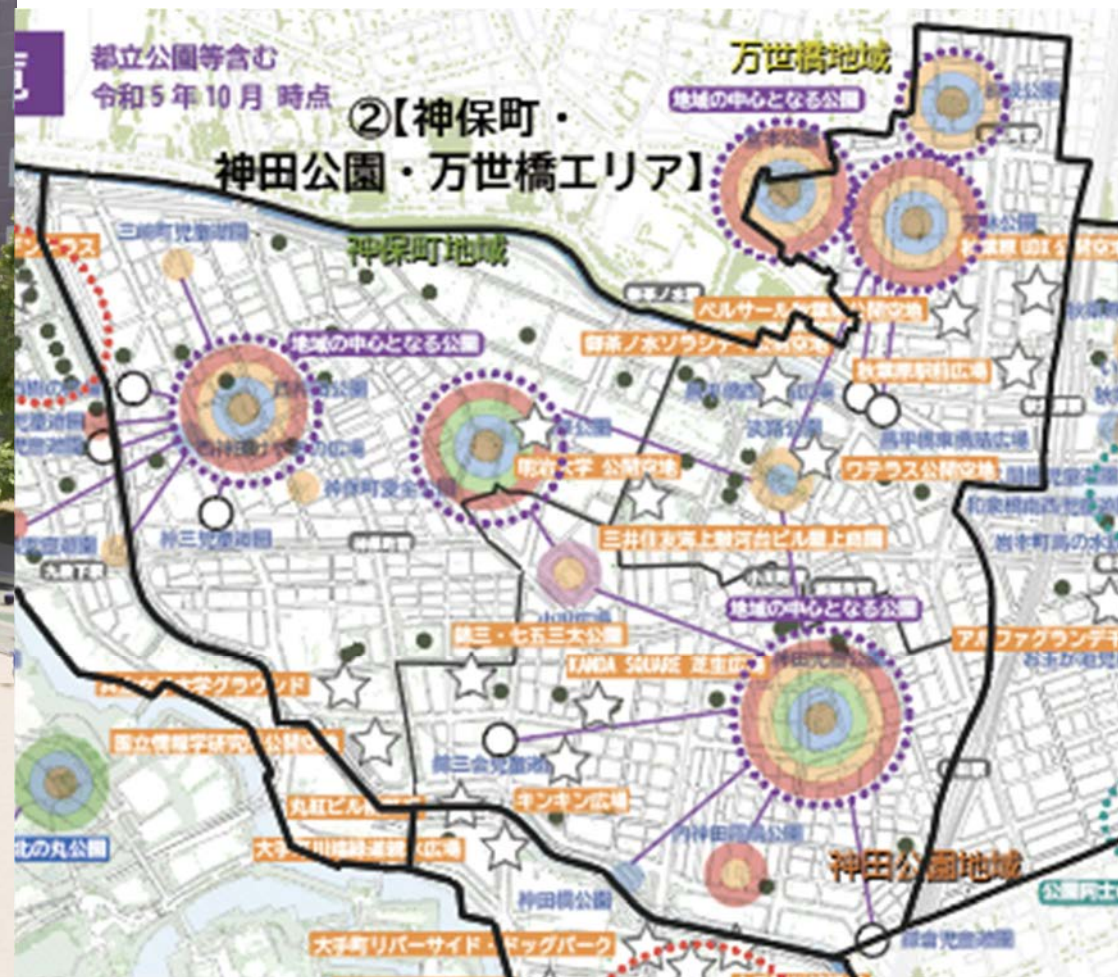
錦華公園，西神田公園，神保町愛全公園，廻橋児童遊園，堀留南児童遊園，堀留北児童遊園，神三児童遊園，三崎町児童遊園，西神田けやきの広場，西神田百樹の広場

対象の公園（6公園）

神田児童公園，神田橋公園，内神田尾嶋公園，錦三会児童遊園，鎌倉児童遊園，小川広場

対象の公園（6公園）

宮本公園，芳林公園，練成公園，淡路公園，昌平橋東橋詰広場，昌平橋西橋詰広場



②神保町・神田公園・万世橋エリア

- ・震災復興小公園や神田神社などの歴史的資産を活かした公園整備を行います。
- ・本郷台地の崖線が有する豊かなみどりを継承していきます。

- ・淡路公園など活発な地域活用を促進し、地域に愛される公園づくりを目指します。
- ・公園の数も多い地域であり、児童遊園も多いため、アクセスしやすいエントランスづくりを目指します。
- ・公開空地など公共・民間ともに建物と接した場所がおおいため、一体的な利用が望めます。
- ・日中の多い利用者を想定して、休息施設の拡充を図ります。
- ・市民花壇など活用を促進します。

- ・子どもや子育て世代に加えて、昼間人口を含めた多様な世代が利用しやすい公園づくりを目標とします。
- ・錦華公園や西神田公園を中心に先駆的機能を強化し、ボール遊びや水遊び、自然での遊び等、遊び場機能の拡充を行うとともに先駆的機能の拡充、柔軟なルールづくりに努めます。
- ・神田橋公園や小川広場などすでに先駆的機能を有している公園を中心に柔軟な利用を促進します。
- ・インクルーシブ遊具などの先駆的機能の導入を促進します。
- ・公園内での賑やかな利用、静かな利用など機能を分担します。

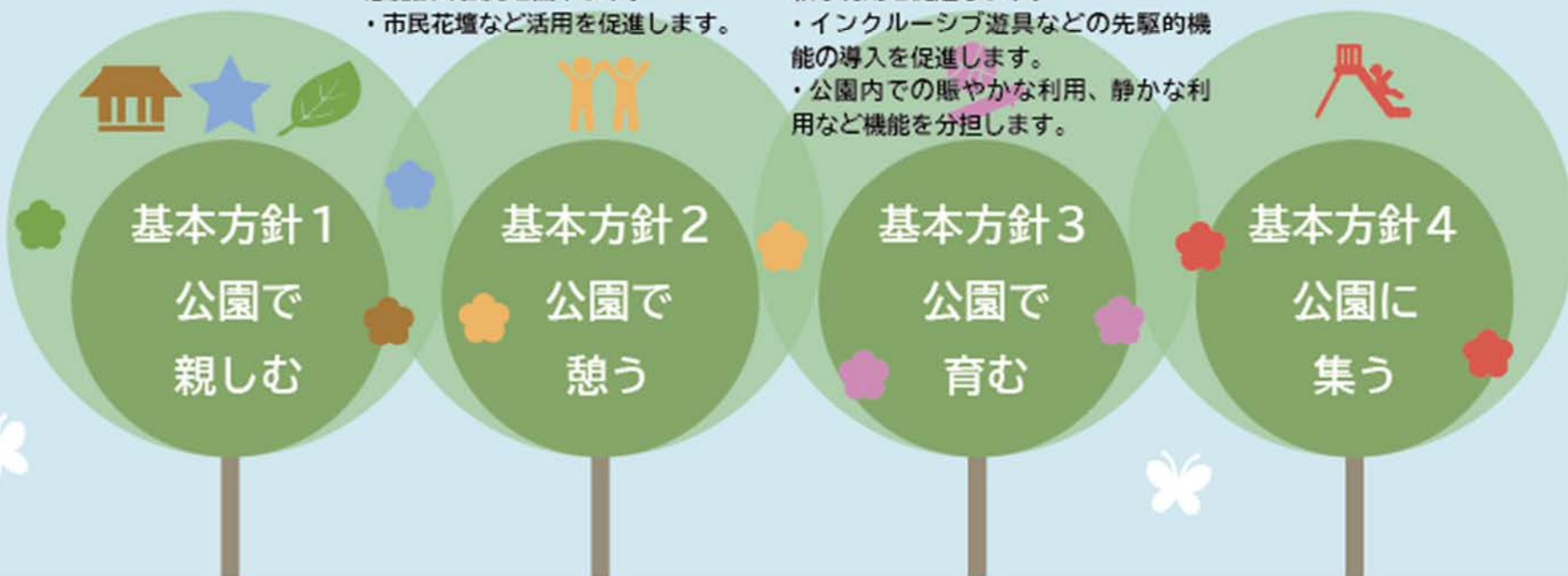
- ・近接している児童遊園、広場があるため、それらの機能連携が望めます。
- ・誘致圏外が多いため、公開空地との一体的利用を促進します。
- ・周辺施設との一体的利用を促進します。
- ・中央区の公園との連携を図ります。

エリア整備方針



強化すべき機能

基本方針



公園が担保すべき
基本的な機能

環境保全

景観形成

コミュニティ形成

レクリエーション

防災